

## 2016 年度 研究センター事業報告書

研究センター名	白川静記念東洋文字文化研究所
研究センター長名	杉橋 隆夫

### I. 研究成果の概要

本欄には、研究センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどをおこないできるだけわかりやすく記述してください。

#### 1) 学術研究事業

2016 年度は、各運営委員や研究員による個別の研究のほかに、「白川静先生没後十年記念事業」として、学内外の諸機関と連携して活動を行った。おもな活動は、以下の通りである。

- ① 昨年度に引き続き、三菱財団人文科学研究研究助成(2014 年 10 月～2016 年 9 月、研究代表者：萩原正樹、研究費：200 万円)により、「白川文字学による漢字教育が小学校児童の漢字や他の領域の理解におよぼす効果」という課題で研究を継続した。本研究は、情報理工学部の前田 亮教授の協力を得ながら「白川フォント」を作成し、12 月 7 日に一般公開を行った。公開後は、本研究所のホームページから同フォントをフリーでダウンロードできるような仕様であり、学内外に研究所の活動を広報するうえで有用なツールとなった。
- ② 国際シンポジウム「白川学の現在と展望」を、2016 年 12 月 3 日に本学衣笠キャンパス（創思館カンファレンスルーム）において開催した。発表者として臧克和氏（華東師範大学）、張宇衛氏（台湾中央研究院）、魯耀翰氏（高麗大大学校）、張 莉氏（大阪教育大学）を招き、それぞれ、「白川学研究についての管見」、「台湾における白川文字学を受容の過去と現在」、「白川先生の「興」の研究と『杜律虞註』の「興」説について」、「中国に伝えたい白川静文字学」というテーマで研究発表を行った。会場には学内外から 80 名が集い、研究報告と併せて積極的な意見交換が行われた。講師各位と当研究所とは、今後も継続した協力関係が確認され、国際的な研究展開を進めることができた。
- ③ 平井嘉一郎記念図書館開館記念企画として、図書館と共催で「白川静文庫」特別展示～白川静の世界～を開催（10 月 15 日～11 月 10 日）した。また特別展示とあわせ、津崎史氏（白川先生ご長女）、西川照子氏（平凡社『白川静の世界』編者による対談「白川静先生を語る会」を実施した（10 月 15 日）。
- ④ 高島敏夫客員研究員による連続講座「白川文字学の原点に還る」を、11～12 月に 6 回開催した。
- ⑤ 学園ホームページに白川静先生「特設サイト」を開設（10 月 28 日公開）し、先生の半生や白川文字学の背景を理解できる内容を備え、さらには現在の研究所の活動についても掲載を行った。

#### 2) 文化事業

全国で漢字講座やワークショップを計 29 回開催、のべ 1800 名の受講者があった。2006 年度から全国で開催している体験型漢字講座「漢字探険隊」は 2017 年 3 月末現在で通算実施回数が 164 回に上っている。漢字教育士資格認定事業について、漢字教育士認定者数は 2017 年 3 月末で累計 500 名に上っている。産経新聞社との共催による「第 7 回創作漢字コンテスト」は、全国から 1.3 万通の応募があった。また、白川博士の業績を初等・中等教育現場に広く普及させるべく、当研究所客員研究員・後藤文男が中心となり、2014 年 4 月から立命館学園附属校教員による「白川式漢字学習法」開発ワーキングの活動を行い、2016 年 3 月に『成り立ちで学ぶ漢字ワークシート 35』に続き 10 月には『同・第 2 集』も完成、2016 年度より附属校での使用が始まり、11 月には「第 1 回白川文字学教育研究会」を開催、小学校から高校までの様々な段階における白川文字学の国語教育への応用について模擬授業を行い、理解を深めた。ここ数年の間で附属校・提携校の中での白川静・白川文字学への認知は急速に高まっている。

## II. 拠点構成員の一覧

本欄には、2017年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③学振特別研究員(PD・RPD)、④博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上に在籍する院生

役割	氏名	所属	職位
センター長	杉橋 隆夫	文学部	特任教授
運営委員	加地 伸行	衣笠総合研究機構	研究顧問
	芳村 弘道	文学部	教授
	上野 隆三	文学部	教授
	萩原 正樹	文学部	教授
	松本 保宣	文学部	教授
	石井 真美子	文学部	准教授
	大形 徹	衣笠総合研究機構	客員教授
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	前田 亮	情報理工学部	教授
学内の若手研究者	専門研究員・研究員	Batjargal Biligsaikhan	総合科学技術研究機構 専門研究員
	補助研究員・リサーチアシスタント		
	学振特別研究員(PD・RPD)		
	博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上在籍院生		
その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・博士前期課程院生等)	山田崇仁	立命館大学	非常勤講師
	高島 敏夫	立命館大学	非常勤講師
	増井 寛也	立命館大学	非常勤講師
	吉田 甫	立命館大学	非常勤講師
	後藤 文男	学校法人立命館 社会連携課	契約職員(専門職)
	落合 淳思	立命館大学	非常勤講師
	久保裕之	学校法人立命館 社会連携課	専任職員
客員協力研究員	笠川 直樹	白川静記念東洋文字文化研究所	客員研究員
	小寺 誠	白川静記念東洋文字文化研究所	客員研究員

	津崎 幸博	白川静記念東洋文字文化研究所	客員研究員
	馬越 靖史	京都外大西高等学校	非常勤講師
	佐藤 信弥	兵庫県立芦屋国際中等教育学校/ 尼崎市立尼崎工業高等学校	非常勤講師
	富 嘉吟	白川静記念東洋文字文化研究所	客員研究員
	阪谷 昭弘	私立花園高等学校国語科	教諭
その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等)	横大路 綾子	京都西山高校	非常勤講師
	三輪 健介	岡山大学	客員研究員
	丸山 啓樹	白川静記念東洋文字文化研究所	客員研究員
	齋藤 加奈	白川静記念東洋文字文化研究所	客員研究員
	末次 信行	千里金蘭大学	教授
	村上 幸造	大阪工業大学知的財産学部	教授
	武田 秀夫	追手門学院大学	元教授
	張 莉	京都大学国際高等教育院	非常勤講師
	前原 あやの	関西大学	非常勤講師
	辻尾 榮市	大阪府立大学	客員研究員
	湯浅 邦弘	大阪大学大学院文学研究科	教授
	草野 友子	京都産業大学文化学部	特約講師
	中村 未来	大阪大学大学院文学研究科	助教
	福田 哲之	島根大学教育学部	教授
	福田 一也	大阪大学大学院文学研究科 懐徳堂研究センター	教務補佐員
	佐々木 聡	大阪府立大学	日本学術振興会特別研究員PD
	大野 裕司	北海道大学大学院文学研究科	専門研究員
	秋山 陽一郎	大阪府立大学	客員研究員
	松井 嘉徳	京都女子大学文学部	教授
	松宮 貴之	佛教大学	非常勤講師
小沢 賢二	大阪府立大学	教授	
曹 方向	大阪大学大学院文学研究科	外国人招聘研究員	
研究所・センター構成員 計 46 名 (うち学内の若手研究者 計 1 名)			

### Ⅲ. 研究業績

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2017年3月31日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	芳村弘道	杜甫全詩訳注(三) 講談社	共著	2016年9月	講談社	松原朗憲	PP. 644-654
2	芳村弘道	杜甫全詩訳注(四)	共著	2016年10月	講談社	松原朗憲 他	PP. 961-1047

3	萩原正樹	杜甫全詩訳注四(講談社学術文庫)	共訳	2016年10月	講談社	下定雅弘・松原朗編	PP. 877-961
4	萩原正樹	「詞譜」及び森川竹溪に関する研究	単著	2017年3月	中國藝文研究会		
5	松本保宣	『古代中世東アジアの開所と交通制度』	共著	2017年2月	汲古書院	鷹取祐司編	PP. 135-173
6	大形徹	『「中尾佐助 照葉樹林文化論」の展開 — 多角的視座からの位置づけ』	共編・共著	2016年5月	北海道大学出版会、山口裕文・金子務・大形徹・大野朋子編。『「莊子」にみえる植物—扶揺・冥霊・大椿・櫟—』を執筆。	その他の編者、山口裕文・金子務・大野朋子共編、その他の著者岡田博・河瀬眞琴・伊藤一幸・上田善弘・森元真理・阪口翔太・副島颯子・山口聰・保田謙太郎・三村真紀子・久保輝幸・水野杏紀・平木康平・前中久行・梅本信也・児島恭子・鈴木貢次郎・亀山慶児・李景秀・大澤良・中田政司・管開雲・王仲朗・植村修二・中村治・木崎香織・林みどり・山本悦律子・宮浦理恵	PP. 88-99
7	大形徹	『前方後円墳の出現と日本国家の起源』	共著	2016年11月	古代史シンポジウム2015-2016「発見・検証 日本の古代」書籍版、[第3回配本] III「前方後円墳の出現と日本国家の起源」論考「古代日本の祭祀—卑弥呼の鬼道と鏡に映し出された大陸との関係」大形徹、角川書店	鈴木靖民・寺澤薫・白石太一郎・森公章・北川和秀・笹生衛・山田仁史・佐藤洋一郎・上野誠	
8	大形徹	『一衣帯水』玄号	共著	2016年11月	日中言語出版社、張麟声・大形徹編、表紙デザインなど。	張麟声・岩間眞知子・大平桂一	1頁ほか
9	高島敏夫	白川文字学の原点に還る	単著	2016年8月	朋友書店		196頁
10	大形徹	「中尾佐助 照葉樹林文化論」の展開 — 多角的視座からの位置づけ	共編・共著	2016年5月	北海道大学出版会、山口裕文・金子務・大形徹・大野朋子編。『「莊子」にみえる植物—扶揺・冥霊・大椿・櫟—』を執筆。	その他の編者、山口裕文・金子務・大野朋子共編、その他の著者岡田博・河瀬眞琴・伊藤一幸・上田善弘・森元真理・阪口翔太・副島颯子・山口聰・保田謙太郎・三村真紀子・久保輝幸・水野杏紀・平木康平・前中久行・梅本信也・児島恭子・鈴木貢次郎・亀山慶児・李景秀・大澤良・中田政司・管開雲・王仲朗・植村修二・中村治・木崎香織・林みどり・山本悦律子・宮浦理恵	PP. 88-99
11	大形徹	前方後円墳の出現と日本国家の起源	共著	2016年11月	古代史シンポジウム2015-2016「発見・検証 日本の古代」書籍版、[第3回配本] III「前方後円墳の出現と日本国家の起源」論考「古代日本の祭祀—卑弥呼の鬼道と鏡に映し出された大陸との関係」大形徹、角	鈴木靖民・寺澤薫・白石太一郎・森公章・北川和秀・笹生衛・山田仁史・佐藤洋一郎・上野誠	

					川書店		
12	大形徹	『一衣帯水』玄号	共著	2016年11月	日中言語出版社、張麟声・大形徹編、表紙デザインなど。	張麟声・岩間眞知子・大平桂一	1頁ほか
13	草野友子	竹簡学入門——楚簡冊を中心として	共著	2016年12月	東方書店	陳偉著、湯淺邦弘監訳、草野友子・曹方向訳	PP. i-xxi、1-159
14	佐々木聡	復元白沢図—古代中国の妖怪と辟邪文化	単著	2017年1月	白澤社		全176頁
15	佐藤信弥	周一理想化された古代王朝	単著	2016年9月	中央公論新社(中公新書)		全237頁
16	曹方向	竹簡学入門——楚簡冊を中心として	共著	2016年12月	東方書店	陳偉著、湯淺邦弘監訳、草野友子・曹方向訳	PP. 161-188
17	張莉	彩香と李陽—総合的に学ぼう初級中国語	共著	2016年3月	白帝社	顧春芳	
18	張莉	こわくてゆかいな漢字	単著	2016年6月	二玄社		
19	張莉	倭人とはなにか	共著	2016年12月	明石書店	出野正	
20	佐藤信弥	周一理想化された古代王朝	単著	2016年9月	中央公論新社		全237頁

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	芳村弘道	詩語となった中国の名所を知る最良の書『中国詩跡辞典』	単著	2016年12月	東方 430,		PP. 34-38. 8	無
2	芳村弘道	詞籍「提要」訳注稿「小山詞」	単著	2016年12月	風絮 13		PP. 97-104	無
3	芳村弘道	龍榆生編選『唐宋名家詞選』北宋編(一)晏殊	単著	2017年3月	風絮別冊		PP. 55-67	無
4	芳村弘道	臺灣中央研究院傅斯年圖書館所蔵の稿本『錢注杜詩』について——李爽氏「“錢牧齋杜注寫本”考」補遺——	単著	2017年3月	學林 64		PP. 1-24	無
5	芳村弘道	董康『書舶庸譚』九卷本譯注(七)	単著	2017年3月	立命館白川靜記念東洋文字文化研究所紀要 10		PP. 93-117	無
6	萩原正樹	《詩苑》所収王国維詩詞十首考述	単著	2016年7月	民国旧体文学研究、1号		PP. 353-372	有
7	萩原正樹	橋本循著作集第一巻解題	単著	2016年9月	『橋本循著作集』(一卷)		PP. 531-536	
8	日本詞曲学会(萩原正樹)	詞籍「提要」訳注稿(六)	共著	2016年12月	風絮、13号		PP. 160-169	有
9	日本詞曲学会(萩原正樹)	龍榆生編選『唐宋名家詞選』北宋編(一)	共著	2017年3月	風絮、別冊巻		PP. 185-201、207-223	有
10	萩原正樹	「詩苑」所収王国維詩詞十首について	単著	2017年3月	學林、64号		PP. 103-127	有
11	石井真美子	『銀雀山漢墓竹簡〔貳〕訳注』(四)	共著	2016年11月	中国芸文研究会、學林、第63号	村田進、山内貴	PP. 140-168	無
12	石井真美子	『銀雀山漢墓竹簡〔貳〕訳注』(五)	共著	2017年3月	中国芸文研究会、學林、第64号	村田進、山内貴	PP. 128-147	無
13	大形徹	『胎産書』与徐之才「逐月養胎方」	共著	2016年5月	上海中医薬大学60周年慶、出土医学文献研究国際研討会	池内早紀子、董濤	PP. 10-30	無(招待)

					論文集、中医文献研究所、基礎医学院、国際交流処、上海中医薬博物館			
14	大形徹	《千金翼方・禁經》と日本奈良市出土二條大路咒符木簡	共著	2016年7月	中国人民大学-美国羅格斯大学 首屆國際道教文化前沿論壇 論文集、中国・天岳幕阜山	山里純一・大野朋子・佐々木聡・董濤・池内早紀子	PP. 122-131	無(招待)
15	大形徹	对徐福尋找的仙藥(靈芝)和仙人的探究—以圖像資料為線索	单著	2016年10月	大形徹・樊士進訳 大陸橋 2016 徐福文化与「一带一路」城市文化産業國際論壇(論文集) 当日挟み込み資料。		PP. 1-10	無(招待)
16	大形徹	「東」と扶桑が結びつけられる理由	单著	2016年12月	『漢字学研究』第4号、立命館大学白川記念東洋文字文化研究所		PP. 155-176	無(招待)
17	高島敏夫	西周時代における天の思想と天子概念—殷周革命論ノート(三) 下	单著	2017年3月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、紀要 第10号		PP. 75-91	無
18	大形徹	「東」と扶桑が結びつけられる理由	单著	2016年12月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、4号		155-176頁	有
19	大野裕司	清華大学藏戦国竹簡『筮法』における占術の多重構造	单著	2016年12月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、4号		1-20頁	有
20	落合淳思	金文通解 寝孳方鼎	单著	2016年12月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、4号		97~104頁	有
21	草野友子	提要 西信康著『郭店楚簡『五行』と伝世文献』	单著	2016年12月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、4号		201-203頁	有
22	佐藤信弥	金文通解 晋侯蘇鐘	单著	2016年12月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、4号		53-90頁	有
23	佐藤信弥	提要 陳捷著『甲骨文字と商代の信仰神権・王権と文化』	单著	2016年12月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、4号		193-195頁	有
24	佐藤信弥	提要 角道亮介著『西周王朝とその青銅器』	单著	2016年12月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、4号		195-198頁	有
25	佐藤信弥	2014年古文字学論著目	单著	2016年12月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、4号		207-217頁	有
26	末次信行	卜辞出現の歴史的経緯について	单著	2016年12月	千里金蘭大学紀要、13号		169-173号	無
27	曹方向	戦国文字と伝世文献に見える「文字異形」について—「百」字を例として—	单著	2016年12月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、4号		21-30頁	有
28	高橋(前原)あやの	金文通解 内史亳同	单著	2016年12月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、4号		91-96頁	有
29	高橋(前原)あやの	提要 大野裕司著『戦国秦漢出土術数文献の基礎的研究』	单著	2016年12月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、4号		203-205頁	有
30	福田哲之	戦国竹簡入門 戦国竹簡文字研究略説	单著	2016年12月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、4号		177-192頁	有

31	馬越靖史	金文通解 四十三年 =鼎	単著	2016年12月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、4号		133-154頁	有
32	三輪健介	提要 佐藤信弥著 『西周期における祭祀儀礼の研究』	単著	2016年12月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、4号		198-201頁	有
33	村上幸造	金文通解 𠩺簋	単著	2016年12月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、4号		105-132頁	有
34	山田崇仁	蒼頡伝説の形成過程について—『説文解字』敍に至るまでを対象として—	単著	2016年12月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、4号		31-52頁	有
35	秋山陽一郎	「國別者八篇」考—劉向新定本《戰國策》の藍本	単著	2017年3月	中国古代史論叢、9集		31-50頁	有
36	大野裕司	書評・新刊紹介 水野杏紀著『易、風水、暦、養生、処世 東アジアの宇宙観(コスモロジー)』	単著	2016年11月	日本道教学会、東方宗教、128号		PP. 51-56	有
37	大形徹	『胎産書』与徐之才「逐月養胎方」	共著	2016年5月	上海中醫藥大學60周年慶、出土醫學文獻研究國際研討會論文集、中醫文獻研究所、基礎醫學院、國際交流處、上海中醫藥博物館	池内早紀子、董濤	PP. 10-30	無(招待)
38	大形徹	《千金翼方・禁經》与日本奈良市出土二條大路咒符木簡	共著	2016年7月	中国人民大学-美国羅格斯大学首届國際道教文化前沿論壇論文集、中国・天岳暮阜山	山里純一・大野朋子・佐々木聡・董濤・池内早紀子	PP. 122-131	無(招待)
39	大形徹	对徐福尋找的仙藥(靈芝)和仙人的探究—以圖像資料為線索	単著	2016年10月	大形徹・樊士進訳 大陸橋2016 徐福文化与「一带一路」城市文化產業國際論壇(論文集) 当日挟み込み資料。		PP. 1-10	無(招待)
40	落合淳思	甲骨文字の占卜用語 甲骨文字札記(二)	単著	2017年3月	中国古代史論叢、9集		126-147頁	有
41	佐々木聡	『白沢精怪図』再考—S.6261を中心として	単著	2017年3月	京都大学人文科学研究所西陲發現中国中世写本研究班、敦煌写本研究年報、11号		57-72頁	無
42	佐々木聡	「釜鳴をめぐる怪異観の展開とその社会受容」	単著	2017年3月	大阪府立大学人文学会、『人文学論集』、第35集		1-18頁	有
43	佐藤信弥	歴史評価としての共伯和	単著	2017年3月	中国古代史論叢、9集		1-30頁	有
44	高橋(前原)あやの	天文占書の解題と「天文占書フルテキストデータベース」の意義	単著	2016年4月	関西大学東西学術研究所、関西大学東西学術研究所紀要、49輯		PP. 79-99	有
45	高橋(前原)あやの	中山城山の学問与天文曆算学	単著	2016年8月	河北民族師範大学、河北民族師範大学学报、36卷3期(総147期)		PP. 69-76	無
46	高橋(前原)あやの	五宮から三垣へ—星座分類の変遷の考察	単著	2016年11月	日本道教学会、東方宗教、128号		PP. 1-18	有
47	張莉	甲骨文字「𠩺」符号之原義	単著	2016年5月	中国文字学会、第27届『中国文字学國際學術研討會論文集』		PP. 251-262	有
48	松井嘉徳	書評 豊田久著『周代史の研究—東アジア世界における多様性の統合』	単著	2016年9月	『史学雑誌』第125輯第9号		PP. 76-84	有

49	松井嘉徳	書評 佐藤信弥著『西周期における祭祀儀礼の研究』	単著	2017年3月	東洋史研究、75巻4号		132-146号	有
50	松宮貴之	民国抗日戦争期に於ける郭沫若の「書」及び「文学」の論理	単著	2016年6月	郭沫若研究会報 (15)		PP. 88-99	有
51	松宮貴之	抗日勝利から中華人民共和国建国期、百花斉放時に至る郭沫若の書様式の整理：日中戦争終結から一九五〇年代後期の様式変遷と所謂「郭体」の確立時期を巡って	単著	2016年11月	京都語文 (23)		PP. 299-315	有
52	松宮貴之	高等学校芸術科「書道」に於ける「鑑賞」教育に就いての複合的考察：学習指導要領の整理と「書道Ⅲ」に於ける「伝統文化」「言語活動」「書論」認識と創造的鑑賞の実践的研究	単著	2016年4月	佛教大学教育学部学会紀要 = Bulletin of the Faculty of Education of Bukkyo University (15)		PP. 71-87	有
53	松宮貴之	行書・贈《屈原》表演者二首を巡って	単著	2016年12月	郭沫若研究会報 (16)		PP. 18-21	有
54	山田崇仁	楚の熊罥から武王までの系譜の検討	単著	2017年3月	花園大学文学部紀要、49号	なし	PP. 83-100	無
55	山田崇仁	大正新脩大藏經テキストデータベースを利用した外典佚文収集に関する基礎的研究	単著	2017年3月	中国古代史論叢、9集	なし	PP. 148-202	有
56	佐藤信弥	金文通解 晋侯蘇鐘	単著	2016年12月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、第4号		53-90頁	有
57	佐藤信弥	提要 陳捷著『甲骨文字と商代の信仰神権・王権と文化』	単著	2016年12月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、第4号		193-195頁	有
58	佐藤信弥	提要 角道亮介著『西周王朝とその青銅器』	単著	2016年12月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、第4号		195-198頁	有
59	佐藤信弥	2014年古文字学論著目録	単著	2016年12月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、第4号		207-217頁	有
60	佐藤信弥	歴史評価としての共伯和	単著	2017年3月	中国古代史論叢、9集		1-30頁	有

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	芳村弘道	南宋楊齊賢の李白詩注考	2016年4月	第十一届通俗文学與雅正文学暨第十二届唐代文化國際學術研討會、國立中興大學	
2	芳村弘道	臺灣中央研究院傅斯年圖書館所藏の稿本『錢注杜詩』について——李爽氏「“錢牧齋杜注寫本”考」補遺——	2016年11月	東亞漢籍及其交流 第三屆國際學術會議、高麗大學校漢字漢文研究所	
3	芳村弘道	關於臺灣中央研究院傅斯年圖書館所藏稿本《錢注杜詩》考——李爽氏《“錢牧齋杜注寫本”考》補遺——	2016年12月	復旦大學中國古代文學研究中心中日日藏漢籍研討會、復旦大學中國古代文學研究中心	
4	萩原正樹	詞譜の發展と唐宋詞研究	2016年5月	第4回宋代文學研究國際シンポジウム「文學テキストの編纂と流伝」	

5	萩原正樹	《詩苑》所収王国維詩詞十首	2016年7月	明清民国歌謡与民国旧体文学學術研討会	
6	萩原正樹	詞律康熙刊本考辨	2016年8月	2016年詞学国際學術研討会	
7	萩原正樹	「海鶴堂日記」の基礎的研究	2016年10月	福武財団2016年度助成成果発表大会	
8	松本保宣	唐・五代期における聴政と朝会の変容	2016年8月	唐代史研究会夏期シンポジウム	
9	松本保宣	唐代の館駅使と宦官使職	2016年9月	「古代中世東アジアの関所と交通政策」研究集会	
10	大形徹	魂のありか	2016年4月	大阪中医薬研究会 ニュー大阪ホテル3F 金剛の間	
11	大形徹	『胎産書』与徐之才「逐月養胎方」	2016年5月	出土医学文献研究国際研討会 上海中医薬大学国際交流中心	山里純一・佐々木聡・大野朋子
12	大形徹	四川省、三星堆の銅神樹について—トルコアラジャホユク出土の太陽円盤との比較を通して—	2016年5月	照葉樹林文化研究会 i-site なんば s-1	
13	大形徹	《千金翼方・禁經》与日本奈良市出土二條大路咒符木簡	2016年7月	研究発表首届国際道教文化前沿論壇 中国人民大学・羅格斯大学 Rutgers University 湖南省平江・陽光酒店、	山里純一・大野朋子・佐々木聡・董涛・池内早紀子
14	大形徹	魂車について	2016年9月	東アジア恊異学会第107回定例研究会 於大阪府立大学學術交流会館 共催:大阪府立大学人文学会	
15	大形徹	对徐福尋找的仙藥(靈芝)和仙人的探究—以圖像資料為線索	2016年10月	大陸橋 2016 徐福文化与「一带一路」城市文化產業国際論壇 中国江蘇省、連雲港市和安湖国際大酒店	
16	高島敏夫	周原遺址2014~2015年の発掘について	2016年9月	初期漢字研究会	
17	村上幸造	転注とは何か	2016年4月	第42回漢字学研究会、キャンパスプラザ京都	
18	笠川直樹	曾侯與鐘	2016年4月	第42回漢字学研究会、キャンパスプラザ京都	
19	笠川直樹	曾侯與鐘(続)	2016年5月	第43回漢字学研究会、キャンパスプラザ京都	
20	笠川直樹	曾侯與鐘(続)	2016年6月	第44回漢字学研究会、キャンパスプラザ京都	
21	笠川直樹	曾侯與鐘(続)	2016年7月	第45回漢字学研究会、キャンパスプラザ京都	
22	佐藤信弥	楚公逆鐘	2016年7月	第45回漢字学研究会、キャンパスプラザ京都	
23	村上幸造	報告 西安・宝鶏周辺地域の青銅器所蔵状況について	2016年9月	第46回漢字学研究会、キャンパスプラザ京都	
24	佐藤信弥	楚公逆鐘(続)	2016年9月	第46回漢字学研究会、キャンパスプラザ京都	
25	佐藤信弥	楚公逆鐘(続)	2016年10月	第47回漢字学研究会、キャンパスプラザ京都	
26	山田崇仁	競之定銅器群	2016年10月	第47回漢字学研究会、キャンパスプラザ京都	
27	山田崇仁	競之定銅器群(続)	2016年11月	第48回漢字学研究会、キャンパスプラザ京都	
28	小沢賢二	文字学からみた浙江大左伝一科斗文字について—	2016年12月	第49回漢字学研究会、キャンパスプラザ京都	
29	佐藤信弥	2015年新公表の出土文献	2017年1月	第50回漢字学研究会、キャンパスプラザ京都	
30	末次信行	=尊	2017年1月	第50回漢字学研究会、キャンパスプラザ京都	
31	笠川直樹	曾侯鐘	2017年2月	第51回漢字学研究会、キャンパスプラザ京都	
32	大形徹	魂のありか	2016年4月	大阪中医薬研究会 ニュー大阪ホテル3F 金剛の間	
33	大形徹	『胎産書』与徐之才「逐月	2016年5月	出土医学文献研究国際研討会 上海中	山里純一・佐々木聡・大野朋子

		養胎方」		医薬大学国際交流中心	
34	大形徹	四川省、三星堆の銅神樹について—トルコアラジャホユク出土の太陽円盤との比較を通して—	2016年5月	照葉樹林文化研究会 i-site なんば s-1	
35	大形徹	《千金翼方・禁經》与日本奈良市出土二條大路咒符木簡	2016年7月	研究発表首届国際道教文化前沿論壇 u 中国人民大学・羅格斯大学 Rutgers University 湖南省平江・陽光酒店、	山里純一・大野朋子・佐々木聡・董濤・池内早紀子
36	大形徹	魂車について	2016.年9月	東アジア恠異学会第107回定例研究会 於大阪府立大学学術交流会館 共催:大阪府立大学人文学会	
37	大形徹	対徐福尋找的仙薬(靈芝)和仙人的探究—以圖像資料為線索	2016年10月	大陸橋 2016 徐福文化与「一带一路」城市文化産業國際論壇 中国江蘇省、連雲港市和安湖國際大酒店	
38	草野友子	日本における中国古代思想観念史研究の展開と特色	2016年7月	中国古代観念史研究ワークショップ	
39	草野友子	新出資料情報(2013~2015)	2016年7月	中国出土文献研究会第63回研究会	
40	佐々木聡	「天文五行占書に見える植物の怪異—祥瑞災異思想の観点から—」	2016年5月	照葉樹林文化研究会 2016 in Osaka、大阪府立大学アイサイトなんば	
41	佐々木聡	釜鳴をめぐる怪異観について—辟邪観念の再検討にむけて	2016.年9月	東アジア恠異学会第107回定例研究会、大阪府立大学	
42	佐々木聡	「古書『礼緯含文嘉』の伝本とその特徴について」	2016年10月	日本中国学会第68回大会、奈良女子大学	
43	佐々木聡	「災異と禳災のポリティクス」	2016年12月	公開シンポジウム「前近代東アジアにおける怪異と社会:テキスト・文化・自然環境」、立教大学	
44	佐々木聡	「鬼神を表す語彙を考える」	2017年3月	東アジア恠異学会第110回定例研究会・特別企画〈他者〉の怪異学2「お化けと神さま再考」、園田学園女子大学	
45	佐藤信弥	阪哲評書『西周期における祭祀儀礼の研究』	2016年9月	第401回阪神中哲談話会 特別発表大会、関西大学千里山キャンパス	水野卓
46	高橋(前原)あやの	中山城山の天文学研究	2016年5月	東アジア文化交渉学会 第8回年次大会、関西大学	
47	高橋(前原)あやの	江戸時代の儒者・中山城山の天文曆算学	2016年9月	第147回仏教天文学研究会、京都大学	
48	張莉	甲骨文 卩 符号之原義	2016年5月	第27回中国文字学会國際學術研討会(台湾国立台中教育大学)	
49	張莉	日本漢字流通の成立過程	2016年6月	世界漢字学会第四回年会(韓国釜山慶星大学)	
50	張莉	中国に伝えたい白川静文字学	2016年12月	國際シンポジウム「白川学の現在と展望」、立命館大学衣笠キャンパス	
51	中村未来	戦国期における子産像—儒家系文献を中心に—	2016年12月	國際シンポジウム「儒学—蜀学と文献学—」、大阪大学豊中キャンパス	
52	松宮貴之	中国の政治家と書の分析—洋務派から変法派まで	2016年8月	日本文化研究センター	
53	山田崇仁	前漢前少帝の諱について	2016年8月	2016年度立命館東洋史学会大会	なし
54	佐藤信弥	楚公逆鐘	2016年7月	第45回漢字学研究会、キャンパスプラザ京都	
55	佐藤信弥	阪哲評書『西周期における祭祀儀礼の研究』	2016年9月	第401回阪神中哲談話会 特別発表大会、関西大学千里山キャンパス	水野卓
56	佐藤信弥	楚公逆鐘(続)	2016年9月	第46回漢字学研究会、キャンパスプラザ京都	
57	佐藤信弥	楚公逆鐘(続)	2016年10月	第47回漢字学研究会、キャンパスプラザ京都	
58	佐藤信弥	2015年新公表の出土文献	2017年1月	第50回漢字学研究会、キャンパスプラザ京都	

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	<p>伝統医療文化国際ワークショップ2016-4 「日韓伝統医学の交流と比較—自国化と漢方復興」 《プログラム》 総合司会：大形徹（大阪府立大学教授） 通訳者：鄭宰相・金東嶺・趙ウニル・李孝善・金兌根</p> <p>【基調講演】 安相佑（韓国韓医学研究院責任研究員、京都大学人文科学研究所招聘客員教授） 「朝鮮医書志の新展開」 第1部：＜韓国医学史研究の射程：自国化の道＞ 【招待講演】 車雄碩（慶熙大学校附設晴崗韓医学歴史文化研究センター長）『医方類聚』文化事業方案研究 【研究発表1】 姜延錫（圓光大学校韓医科大学医史学教室副教授）『郷薬集成方』と『医方類聚』時代の韓国医学 【研究発表2】 金賢卿（慶熙大学校韓医科大学医史学教室兼任講師）朝鮮の食治伝統と発展過程 第2部：＜日韓における伝統医学の復興と現状＞ 【特別講演】 矢数芳英（温知堂矢数医院副院長、東京医科大学病院麻酔科兼任講師）「矢数道明と漢方復興運動」 【招待講演】 金南一（慶熙大学校韓医科大学学長）「韓医学からみた伝統医学復興の諸問題」 第3部：＜朝鮮古医書の伝来と日韓医学交流＞ 【総合討論】</p>	京大人文研本館 4階大会議室	2016年4月17日	60名	主催：京都大学人文科学研究所拠点研究A「伝統医療文化の多角的考察」班（班長：大形徹 副班長：武田時昌 幹事：高井たかお）
2	<p>照葉樹林文化研究会（代表 大形徹）2016 in Osaka あいさつ 代表世話人 大形徹 講演発表①大形徹（大阪府立大学人間社会学研究科）四川省、三星堆の銅神樹について—トルコアラジャホユク出土の太陽円盤との比較を通して—②山口裕文（大阪府立大学名誉教授）日本文化を創った伝統野菜③竹井恵美子（大阪学院大学）ミャンマー中部平原における植物性凝乳酵素によるチーズ作りと凝乳植物 研究フラッシュ①佐々木聡（大阪府立大学人間社会学部）天文五行占書に見える植物の怪異—祥瑞災異思想の観点から—②池内早紀子（大阪府立大学現代システム科学研究科）『毛吹草』の薬—享保の改革以前の薬種状況とその後—③前中久行（緑の地球ネットワーク）・大野朋子（神戸大学）・水俣照葉樹林研究グループ水俣の照葉樹林長期調査そのI④山口聡（林間園芸研究センター、元玉川大学）高知椿山の焼畑維持活動。その他</p>	I-site なんば	2016年5月28日	30名	共催：大阪府立大学大学院人間社会学研究科
3	<p>「東アジア伝統医療文化の多角的研究」班研究会（班長・総合司会 大形徹） 《プログラム》 1. 学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院</p>	学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院 2階ホール（兵庫医科大学総合研	2016年6月4日	70名	【主催】京都大学人文科学研究所科学史研究室 京都大学人文科学研究所拠点研究A「伝統医療文化の多角的考察」班（班長：大形徹 副班

	<p>副学院長・兵庫医療大学薬学部教授 戴毅 「中国初の生理学・医学ノーベル賞ー中医薬古典からの啓示」</p> <p>2. 関西医療大学講師 中吉隆之「古代における馬医鍼灸学について」</p> <p>3. 二松学舎大学非常勤講師 野村英登 「身体技法としての“虚心実腹”」</p> <p>4. 台湾 007 人体健康会 社長、楊氏老架太極拳第八代伝人、北京中医薬大学卒業生 陳邦徳 「易筋経と中国養生(理論と実技)」</p> <p>総合討論「伝統医薬学について」 司会：武田時昌(京都大学人文科学研究 所教授)・梁永宣(学校法人兵庫医科大学 中医薬孔子学院副学院長、北京中医薬大学 教授)</p>	修棟2階)			長：武田時昌 幹事：高井たかね) 【共催】学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学 院
4	<p>「東アジア伝統医療文化の多角的研究」班 研究会(班長・総合司会 大形徹) 《プログラム》 総合テーマ「現代医学のなかの漢方」</p> <p>1. インタビュー報告： 武田時昌(人文科学研究所教授)「不妊治 療の最前線ー寺師睦宗先生の語る漢方治 療」 コメント：西巻明彦(北里大学東洋医学総 合研究所医史学研究部、西巻歯科院長)</p> <p>2. 西巻明彦「漢方医学にみる具体的地盤 の探究」</p> <p>3. 並木隆雄(千葉大学医学部附属病院和 漢診療科科長)「大学における漢方医学教 育の現状と問題点」</p>	京大人文研本館4 階大会議室	2016年9月4 日		京都大学人文科学研究所拠点研究A「伝統醫 療文化の多角的考察」班(班長：大形徹 副班 長：武田時昌 幹事：高井たかね)
5	<p>伝統医療文化国際ワークショップ 《プログラム》(総合司会 大形徹)</p> <p>1. Dr. Puente-Ballesteros(白雅詩、澳門大 学人文社科樓歴史系)「康熙帝とチョコレ ート」</p> <p>2. 大浦慈観氏(北里研究所東洋医学総合 研究医史学研究部客員研究員、杉山真伝流 遺徳顕彰会理事) 杉山和一研究</p>	京大人文研本館4 階大会議室	2016年10月2 日	50名	京都大学人文科学研究所拠点研究A「伝統醫 療文化の多角的考察」班(班長：大形徹 副班 長：武田時昌 幹事：高井たかね)
6	<p>日本道教学会第六十七回大会 開会式挨拶 日本道教学会会長大形徹・大 会準備委員長宇佐美文理 研究発表 姜生(四川大学)張道陵以前儒生的道教 司会三浦國雄(四川大学) 垣内智之(大阪市立大学)『大洞真経』の 再検討 司会亀田勝見(福井県立大学) 金志炫(ソウル大学)道教の傳經儀禮にお ける臨壇三師について 司会小南一郎(泉 屋博古館) 坂内榮夫(岐阜大学)『莊子口義』と禪に ついて司会中西久味(新潟大学名誉教授) 加藤千恵(立教大学)鉛汞小考 司会都築 晶子(龍谷大学名誉教授) 野村英登(二松学舎大学)内丹と築壇一翁 葆光の『悟真篇』解釈とその展開 司会横手裕(東京大学) 谷口綾(日本体育大学)元代の医家と儒医 ー龍谷大学所蔵『家伝日用本草』をてがかり として 司会武田時昌(京都大学) 頼思好(東京大学大学院)「墨尿谷」から 「雉衡山」へー楊爾曾の道出版事業と明</p>	京都大学文学研究 科 第三講義室	2016年11月 12日	110名	

	<p>代女仙信仰 司会森由利亜（早稲田大学）          松家裕子（追手門学院大学）「新宝巻」に          みえる信仰のありかた—孤魂と免災—          司会土屋昌明（専修大学）          特別講演 黎志添（香港中文大学道教文化          研究センター長）『太乙金華宗旨』の浄          明起源問題—清初常州における呂祖壇          信仰と浄明派の関係から 講師紹介金志          玟（ソウル大学）          特別講演 菱谷邦夫（京都大学名誉教授）          三教論争から見た道教 講師紹介神塚淑          子（名古屋大学）</p>				
7	<p>「東アジア伝統医療文化の多角的研究」班          研究会（班長・総合司会 大形徹）《安保          徹の世界》          《プログラム》          七里佳代（新潟大学保健管理センター）          安保徹先生ご経歴紹介          1. 渡邊真弓（新潟大学医歯学総合病院医          療情報部）「こころ」と「からだ」をつな          ぐ健康学 —「白血球の自律神経支配」の          発見と2つのエネルギー産生系の連関          2. 富山智香子（新潟大学医学部保健学科）          centenarian を免疫学から考える          3. 渡邊真弓「こころ」と「からだ」をつ          なが健康学・補足—臨床の写真とデータ</p>	京大人文研本館 4 階大会議室	2017年2月5 日	60名	京都大学人文科学研究所拠点研究A「伝統醫 療文化の多角的考察」班（班長：大形徹 副班 長：武田時昌 幹事：高井たかね）
8	<p>「東アジア伝統医療文化の多角的研究」班          研究会（班長・総合司会 大形徹）          《プログラム》          1. 浦山きか（森ノ宮医療大学・客員教授）          『『有林福田方』『悲田方』について』          2. 浦山久嗣（赤門鍼灸柔整専門学校・専          任教員）「六部定位脈診について」          3. 東郷俊宏（東京有明医療大学・教授）          「伝統医学の国際標準化をめぐる—名          辞を欲する身体」</p>	京大人文研本館 4 階大会議室	2017年3月5 日	70名	京都大学人文科学研究所拠点研究A「伝統醫 療文化の多角的考察」班（班長：大形徹 副班 長：武田時昌 幹事：高井たかね）
9	初期漢字研究会	衣笠キャンパス	2016年9月	3名	
10	<p>第42回漢字学研究会          【研究発表】          村上幸造「転注とは何か」          【新出金文講読】          笠川直樹「曾侯與鐘」</p>	キャンパスプラザ 京都	2016年4月	11名	なし
11	<p>第43回漢字学研究会          【新出金文講読】          笠川直樹「曾侯與鐘（続）」</p>	キャンパスプラザ 京都	2016年5月	12名	なし
12	<p>第44回漢字学研究会          【新出金文講読】          笠川直樹「曾侯與鐘（続）」</p>	キャンパスプラザ 京都	2016年6月	12名	なし
13	<p>第45回漢字学研究会          【新出金文講読①】          笠川直樹「曾侯與鐘（続）」          【新出金文講読②】          佐藤信弥「楚公逆鐘」</p>	キャンパスプラザ 京都	2016年7月	9名	なし
14	<p>第46回漢字学研究会          【報告】          村上幸造「西安・宝鶏周辺地域の青銅器所          蔵状況について」          【新出金文講読】          佐藤信弥「楚公逆鐘（続）」</p>	キャンパスプラザ 京都	2016年9月	13名	なし
15	<p>第47回漢字学研究会          【新出金文講読①】          佐藤信弥「楚公逆鐘（続）」          【新出金文講読②】          山田崇仁「競之定銅器群」</p>	キャンパスプラザ 京都	2016年10月	10名	なし

16	第48回漢字学研究会 【新出金文講読】 山田崇仁「鏡之定銅器群（続）」	キャンパスプラザ 京都	2016年11月	9名	なし
17	第49回漢字学研究会 【研究発表】 小沢賢二「文字学からみた浙江大左伝一科 斗文字について」	キャンパスプラザ 京都	2016年12月	13名	なし
18	第50回漢字学研究会 【報告】 佐藤信弥「2015年新公表の出土文献」 【新出金文講読】 末次信行「ニ尊」	キャンパスプラザ 京都	2017年1月	12名	なし
19	第51回漢字学研究会 【新出金文講読】 笠川直樹「曾侯鐘」	キャンパスプラザ 京都	2017年2月	11名	なし
20	『説文解字』を読む会（計22回）	藤本彩雲堂宅 （毎月2回）	2016年4月から 2017年3月	毎回7名	
21	中国古代観念史研究ワークショップ・京都 産業大学文化学部国際文化学科特別講演 会「中国哲学はハーバード大学教養コース でなぜ人気があるのか？」（佐藤将之教授・ 国立台湾大学）	京都産業大学	2016年7月	20名	

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	芳村弘道	白川静博士の中国古代文学研究について	第3168回立命館土曜講座	2016年6月
2	芳村弘道	白川静博士の中国古代文学研究について	第5回福井県白川文字学ゼミ公開講座	2016年12月
3	芳村弘道	董康日本訪書考	復旦大学古籍所講演会	2016年12月
4	高島敏夫	福井県白川文字学ゼミ公開講座	福井県立図書館	2016年9月
5	高島敏夫	連続公開講座 全6回 「白川文字学の原点に還る」①～⑥	衣笠キャンパス	2016年11月～12月
6	大形徹	卓弥呼と鏡	講演 まちライブラリー@大阪府立大学第24回 Academic Cafe i-site なんば3階	2016年7月5日
7	大形徹	科研費改革、採択される申請書（計画調書）の書き方と研究公正推進に関するセミナー「実例に基づいた採択される科研費計画調書の書き方」	大阪府立大学学術交流会館	2016年8月8日
8	大形徹	セッション2 中国古代観念史 佐藤将之(台湾大学) 戦国時期「忠」と「忠信」概念の展開:以「擬似血縁」以及「对鬼神的『孝』」以及「君徳」為思想特点の司会	阪神中哲談話会第401回 特別発表大会 奈良教育大学	2016年9月3日
9	大形徹	対談 よりよく生きるために	重建懷徳堂百周年記念シンポジウム 大阪大学豊中キャンパス 関西大学教授 吾妻重二氏と対談	2016年10月29日
10	大形徹	風水・庭園	神戸大学限発達科学部特別講義	2016年11月4日
11	大形徹	中国のお金の起源となるタカラガイについて	有田市商工会議所 有田ロータリークラブ	2016年11月17日
12	大形徹	毛筆と書道教育	大阪教育大学天王寺キャンパス内 放送大学	2016年11月23日
13	大形徹	漢字学総論II 書体の変遷①② 字体・書体とその変遷との略史(金文・篆書・隸書・行書・草書・楷書)	兵庫県姫路市田寺東2丁目11-1 姫路市生涯学習大学校	2016年12月19日
14	大形徹	特別講義 1.書鑑賞論I(一、曹全碑 二、蘭亭序 三、九成宮醴泉銘 四、顔真卿の大字 五、懷素の草書 六、蘇軾の行書 七、徽宗の瘦金体 八、王鐸の連綿草 九、伊秉綬の隸書 十、	大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1 大阪教育大学 柏原校舎	2017年1月6日

		戴山青の甲骨文) 2.書人研究(寧斧成の書画篆刻)		
15	大形徹	判子を刻ってみよう	公財) 日本漢字能力検定協会 「漢検 漢字博物館・図書館」漢字文化研究所	2017年1月21日
16	大形徹	漢字学総論II 漢字と印章 印章に見る漢字の字体、漢字の文化④ 書作品の鑑賞(曹全碑、蘭亭序、九成宮醴泉銘)	姫路市生涯学習大学校	2017年2月6日
17	大形徹	漢字学総論II漢字の文化② 篆刻、古銭、呪符、対聯など(書作品以外の文字文化)	姫路市生涯学習大学校	2017年2月20日
18	大形徹	白川文字学(The Shirakawa Letters Studies) 集中講義	福井県庁地下会議室・アオッサ 福井大学・福井工業大学・福井県立大学	2017年2月28日-3月1・2・3日
19	大形徹	県内学生140人が「白川文字学」学ぶ 福井で5大学共通講義	福井新聞	2017年3月4日
20	大形徹	卑弥呼と鏡	講演 まちライブラリー@大阪府立大学第24回 Academic Café i-site なんば3階	2016年7月5日
21	大形徹	科研費改革、採択される申請書(計画調書)の書き方と研究公正推進に関するセミナー「実例に基づいた採択される科研費計画調書の書き方」	大阪府立大学学術交流会館	2016年8月8日
22	大形徹	セッション2 中国古代観念史 佐藤将之(台湾大学) 戦国時期「忠」と「忠信」概念之展開:以「擬似血縁」以及「対鬼神的『孝』」以及「君徳」為思想特点 の司会	阪神中哲談話会第401回 特別発表大会 奈良教育大学	2016年9月3日
23	大形徹	対談 よりよく生きるために	重建懷徳堂百周年記念シンポジウム 大阪大学 豊中キャンパス 関西大学教授 吾妻重二氏と対談	2016年10月、29日
24	大形徹	風水・庭園	神戸大学限発達科学部特別講義	2016年11月4日
25	大形徹	中国のお金の起源となるタカラガイについて	有田市商工会議所 有田ロータリークラブ	2016年11月17日
26	大形徹	毛筆と書道教育	大阪教育大学天王寺キャンパス内 放送大学	2016年11月23日
27	大形徹	漢字学総論II 書体の変遷①② 字体・書体とその変遷との略史(金文・篆書・隸書・行書・草書・楷書)	姫路市生涯学習大学校	2016年12月19日
28	大形徹	特別講義 1.書鑑賞論I(一、曹全碑 二、蘭亭序 三、九成宮醴泉銘 四、顔真卿の大字 五、懷素の草書 六、蘇軾の行書 七、徽宗の瘦金体 八、王鐸の連綿草 九、伊秉綬の隸書 十、戴山青の甲骨文) 2.書人研究(寧斧成の書画篆刻)	大阪府柏原市旭ヶ丘 4-698-1 大阪教育大学 柏原校舎	2017年1月6日
29	大形徹	判子を刻ってみよう	公財) 日本漢字能力検定協会 「漢検 漢字博物館・図書館」漢字文化研究所	2017年1月21日
30	大形徹	漢字学総論II 漢字と印章 印章に見る漢字の字体、漢字の文化④ 書作品の鑑賞(曹全碑、蘭亭序、九成宮醴泉銘)	姫路市生涯学習大学校	2017年2月6日
31	大形徹	漢字学総論II漢字の文化② 篆刻、古銭、呪符、対聯など(書作品以外の文字文化)	姫路市生涯学習大学校	2017年2月20日
32	大形徹	白川文字学(The Shirakawa Letters Studies) 集中講義	福井県庁地下会議室・アオッサ 福井大学・福井工業大学・福井県立大学	2017年2月28日-3月1・2・3日
33	大形徹	県内学生140人が「白川文字学」学ぶ 福井で5大学共通講義	福井新聞	2017年3月4日

34	落合淳思	講演「亀甲獣骨に刻まれた信仰」	大阪府立弥生文化博物館	2016年8月27日
35	笠川直樹	漢字教育士講座	放送大学	2016年.11月 計4講座
36	笠川直樹	漢字教育士講座	姫路中学校	2016年.11月 計4講座
37	笠川直樹	漢字講座	漢研ミュージアル	2016年.10月12月 計3講座
38	草野友子	『戦国策』『列女伝』——時代を生き抜く知恵と力	平成28年度懐徳堂古典講座(リレー講座「中国古典の名言を読む」)	2016年9月
39	草野友子	『孟子』『荀子』——人間の本質にせまる	平成28年度懐徳堂古典講座(リレー講座「中国古典の名言を読む」)	2016年10月
40	高橋(前原)あやの	魏志倭人伝を最新技術で読み解いた!	東阿波ケーブルテレビ「K-スタライブ!新春特番」	2017年1月放送
41	張莉	公開講演会「古代の霊獣たちの漢字」	京都市美術館(隨風会主催)	2016年6月1日
42	張莉	白川文字学ゼミ公開講座「古俗の中で蘇る漢字」	福井県立図書館(福井県教育委員会主催)	2016年6月9日
43	張莉	「ゴールデン・エイジ・アカデミー」講座「食と酒の漢字」	京都市生涯学習総合センター(京都アスニー)(京都大学人文科学研究所連携講座)	2016年6月17日
44	張莉	立命館土曜講座「中国からみた白川文字学」	立命館大学末川記念会館講義室	2016年6月18日
45	張莉	古田史学の会総会講演会	I-サイトなんば2F	2016年6月19日
46	張莉	隨風会講演「穀物の実り漢字」	京都市勧業館みやこメッセ	2016年8月21日
47	張莉	隨風会講演「四季の漢字」	なんば市民学習センター	2016年12月11日
48	張莉	奈良シニア大学講演	きらっ都奈良3階研修ホール	2017年2月2日
49	張莉	関西金石研究交流会 講演「食と酒の漢字」	神戸大学龍川記念学術交流会館	2017年3月19日
50	張莉	連載「漢字遊々」	隨風会誌「龍文」113-118	2016年4月~2017年3月
51	松宮貴之	連載 帝王学の書相 北方心泉——近代江南における日本人美学	(株)芸術新聞社『墨』239号	2016年3~4月
52	松宮貴之	連載 帝王学の書相 林則徐——アヘン戦争と東洋道德の書境	(株)芸術新聞社『墨』240号	2016年5~6月
53	松宮貴之	連載 帝王学の書相 頼山陽——近世儒者と聖俗の相克	(株)芸術新聞社『墨』241号	2016年7~8月
54	松宮貴之	連載 帝王学の書相 張芝——書聖の源流、そして幻姿	(株)芸術新聞社『墨』242号	2016年9~10月
55	松宮貴之	連載 帝王学の書相 聖徳太子——東域の国産み物語	(株)芸術新聞社『墨』243号	2016年11~12月
56	松宮貴之	連載 帝王学の書相 董其昌——禅と陽明学の体験書学	(株)芸術新聞社『墨』244号	2017年1~2月
57	松宮貴之	連載 帝王学の書相 藤原佐理——宮中の傾奇者の書姿	(株)芸術新聞社『墨』245号	2017年3~4月

#### 6. 受賞学術賞

No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
該当無し					

#### 7. 科学研究費助成事業

No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	萩原正樹	宋人文集の編纂と伝承に関する総合的研究	基盤研究(B)	2014年4月	2018年3月	分担
2	大形徹	タマシイの観点からみた中国を中心とする東アジア群衆文化の総合的研究	基盤研究(C)	2016年4月	2019年3月	代表
3	大形徹	中国道教における聖地と巡礼に関する総合的調査と研究	基盤研究(B)(代表 専修大学土屋昌明)	2016年4月	2019年3月	分担

4	落合淳思	甲骨文字から楷書に至るまでの漢字の歴史的機能変化	基盤研究 (C)	2016年4月	2019年3月	代表
5	草野友子	中国新出土文献から見る「故事」の変遷と展開	若手研究 (B)	2016年4月	2020年3月	代表
6	佐々木聡	中国近世社会における占書の流布と怪異観の形成—明清の天文五行占を中心に	特別研究員奨励費	2015年4月	2018年3月	代表
7	佐々木聡	タマシイの観点からみた中国を中心とする東アジア辟邪文化の総合的研究	基盤研究 (C) (代表 大形徹)	2016年4月	2019年3月	分担
8	佐々木聡	前近代東アジアにおける術数文化の形成と伝播・展開に関する学際的研究	基盤研究 (B) (代表 水口幹記)	2016年4月	2019年3月	分担
9	佐藤信弥	甲骨文字から楷書に至るまでの漢字の歴史的機能変化	基盤研究 (C) (代表 落合淳思)	2016年4月	2019年3月	分担
10	高橋(前原)あやの	宋代を中心とする天文占書の研究	若手研究(B)	2016年4月	2019年3月	代表
11	高橋(前原)あやの	前近代東アジアにおける術数文化の形成と伝播・展開に関する学際的研究	基盤研究 (B) (代表 水口幹記)	2016年4月	2019年3月	分担
12	中村未来	中国出土文献による聖賢故事と経書の研究	若手研究(B)	2015年4月	2019年3月	代表
13	佐藤信弥	甲骨文字から楷書に至るまでの漢字の歴史的機能変化	基盤研究 (C)	2016年4月	2019年3月	分担

8. 競争的資金等(科研費を除く)

No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	萩原正樹	白川文字学による漢字教育が小学校児童の漢字や他の領域の理解におよぼす効果	三菱財団法人科学研究助成	2014年10月	2016年9月	代表
2	萩原正樹	『詞律大成』の総合的研究	立命館大学研究高度化推進制度研究推進プログラム 科研費獲得推進型	2016年6月	2017年3月	代表
3	山田崇仁	SAT を利用した『大正新収大藏経』所収仏典所載の外典(経・史)佚文収集に関する基礎的研究	平成 28(2016)年度 一般財団法人仏教学術振興会研究助成交付金の報告書	2016年11月	2017年3月	代表

9. 知的財産権

No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
該当無し								